



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月8日

上場会社名 シナネンホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 8132 URL <https://sinanengroup.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中込 太郎
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務IR部長 (氏名) 寺田 達彦 TEL 03-6478-7811
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	63,153	△0.6	726	126.6	987	58.9	506	49.6
2025年3月期第1四半期	63,552	△11.0	320	—	621	—	338	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 475百万円(△23.4%) 2025年3月期第1四半期 620百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	46.56	—
2025年3月期第1四半期	31.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	88,450	54,724	61.8
2025年3月期	105,934	55,230	52.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 54,700百万円 2025年3月期 55,210百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	90.00	90.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	90.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	367,300	15.8	4,400	9.7	4,900	9.3	3,000	△4.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	11,946,591株	2025年3月期	11,946,591株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	1,068,511株	2025年3月期	1,067,826株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	10,878,116株	2025年3月期1Q	10,876,683株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(第1四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

（1）経営成績に関する説明

当社グループは、2027年度の創業100周年に向けて、第三次中期経営計画に基づき「脱炭素社会の実現に貢献する総合エネルギー・ライフクリエイト企業グループへの進化」というビジョン達成に向けて、経営基盤の強化を加速させ、成長戦略を推し進めています。2024年12月27日の適時開示にてお知らせしましたとおり、収益性及び資本効率改善の観点から事業ポートフォリオを再精査し、当社グループにおける主力事業の統合並びに事業再編に向けて、新たな経営体制のもと、グループ一丸となって取り組んでいます。

当第1四半期連結累計期間におけるエネルギー市場環境としましては、当社グループ主力事業に関わる石油類・LPGガスの仕入価格に影響を及ぼす原油価格・プロパンCIPについて、米国政策に端を発する景気鈍化懸念、OPECプラスの増産観測等の影響により、下落基調で推移しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績については、前年同期よりほぼ横ばいの631億53百万円（前年同期比0.6%減）となりました。損益面は、石油類の販売数量増加等の影響により、営業利益は7億26百万円（前年同期比126.6%増）、経常利益は9億87百万円（前年同期比58.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億6百万円（前年同期比49.6%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

[エネルギー卸・小売周辺事業(B to C事業)]

売上面は、灯油の販売数量増加等の影響により、増収となりました。

損益面は、前述の灯油の販売数量増加及び販管費の低減等により、増益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるエネルギー卸・小売周辺事業(B to C事業)の売上高は155億13百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益は3億10百万円（前年同期比124.0%増）となりました。

[エネルギーソリューション事業(B to B事業)]

売上面は、産業用ガス販売におけるスポット取引減少等の影響により、減収となりました。

損益面は、石油類の販売数量増加等の影響により、増益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるエネルギーソリューション事業(B to B事業)の売上高は420億98百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益は2億円（前年同期比39.9%増）となりました。

[非エネルギー事業]

非エネルギー事業全体としては、主にシェアサイクル事業及びシステム事業の好調により、増収増益となりました。

事業別の状況は、次のとおりです。

シェアサイクル事業(シナネンモビリティPLUS株式会社)は、シェアサイクルサービス「ダイチャリ」の拠点開発を推進しています。2025年6月末現在、設置自転車数は15,000台を超える規模に拡大し、利用件数も順調に推移したため、増収増益となりました。

システム事業(株式会社ミノス)は、主力のLPGガス基幹業務システム及び電力顧客管理システムが安定的に貢献し、増収増益となりました。

総合建物メンテナンス事業(シナネンアクシア株式会社)は、集合住宅の建物メンテナンス業務のエリア拡大が寄与したことに加え、斎場・病院など施設運営業務が好調に推移し増収となった一方、物価高による原価の高騰及び人件費の増加等の影響により、減益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における非エネルギー事業の売上高は54億88百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は2億99百万円（前年同期比51.7%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して174億84百万円減少の884億50百万円となりました。これは主に、季節変動に伴う売上債権の減少があったためです。

負債は、169億77百万円減少の337億26百万円となりました。これは主に、季節変動に伴う仕入債務の減少があったためです。

純資産は、5億6百万円減少の547億24百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加があったものの、配当金の支払いによる減少等があったためです。

以上により、自己資本比率は前連結会計年度末と比較し9.7ポイント増加し、61.8%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月14日に公表した業績予想数値に変更はありません。

なお、今後、状況の進展や事業の進捗を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,919	12,145
受取手形、売掛金及び契約資産	39,646	22,476
商品及び製品	6,884	6,257
仕掛品	429	441
原材料及び貯蔵品	24	38
その他	4,003	4,620
貸倒引当金	△45	△30
流動資産合計	62,862	45,949
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,504	7,424
土地	12,000	11,959
建設仮勘定	214	501
その他（純額）	8,165	7,936
有形固定資産合計	27,885	27,822
無形固定資産		
のれん	1,201	1,144
その他	982	1,015
無形固定資産合計	2,183	2,160
投資その他の資産		
投資有価証券	8,243	8,239
長期前払費用	1,599	1,585
その他	3,403	2,936
貸倒引当金	△243	△242
投資その他の資産合計	13,003	12,518
固定資産合計	43,072	42,501
資産合計	105,934	88,450

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,594	15,092
短期借入金	2,377	2,378
未払法人税等	921	760
契約負債	1,113	1,149
賞与引当金	2,051	593
その他	6,189	6,478
流動負債合計	43,248	26,453
固定負債		
長期借入金	1,665	1,571
役員退職慰労引当金	14	14
退職給付に係る負債	623	635
資産除去債務	562	562
その他	4,589	4,489
固定負債合計	7,455	7,272
負債合計	50,704	33,726
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,630	15,630
資本剰余金	7,711	7,711
利益剰余金	31,821	31,348
自己株式	△2,712	△2,713
株主資本合計	52,450	51,977
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,541	2,534
繰延ヘッジ損益	88	80
為替換算調整勘定	130	108
その他の包括利益累計額合計	2,759	2,722
非支配株主持分	20	24
純資産合計	55,230	54,724
負債純資産合計	105,934	88,450

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	63,552	63,153
売上原価	54,581	54,070
売上総利益	8,970	9,082
販売費及び一般管理費	8,649	8,356
営業利益	320	726
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	111	126
その他	227	165
営業外収益合計	343	295
営業外費用		
支払利息	29	18
その他	13	16
営業外費用合計	42	34
経常利益	621	987
特別利益		
固定資産売却益	3	10
特別利益合計	3	10
特別損失		
固定資産除却損	19	12
減損損失	44	—
その他	2	1
特別損失合計	65	13
税金等調整前四半期純利益	559	984
法人税等	222	478
四半期純利益	336	506
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	338	506
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	△0
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	290	△6
繰延ヘッジ損益	10	△8
為替換算調整勘定	△16	△18
持分法適用会社に対する持分相当額	—	1
その他の包括利益合計	284	△31
四半期包括利益	620	475
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	622	471
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	3

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1 (注) 2	四半期 連結損益 及び包括 利益計算書 計上額 (注) 3
	エネルギー 卸・小売 周辺事業 (B t o C 事業)	エネルギー ソリューション事業 (B t o B 事業)	非エネルギー 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15, 169	42, 946	5, 387	63, 503	49	63, 552
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22	1, 328	127	1, 478	△1, 478	—
計	15, 191	44, 275	5, 514	64, 981	△1, 429	63, 552
セグメント利益	138	142	197	479	△158	320

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額49百万円は、当社が管理している不動産賃貸収入に係る売上であります。

2. セグメント利益の調整額△158百万円には、上記1のほか、セグメント間取引消去818百万円、各報告セグメントに配分されていない全社費用△1, 025百万円が含まれています。

3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1 (注) 2	四半期 連結損益 及び包括 利益計算書 計上額 (注) 3
	エネルギー 卸・小売 周辺事業 (B t o C 事業)	エネルギー ソリューション事業 (B t o B 事業)	非エネルギー 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15, 513	42, 098	5, 488	63, 101	52	63, 153
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26	1, 676	150	1, 853	△1, 853	—
計	15, 540	43, 775	5, 639	64, 955	△1, 801	63, 153
セグメント利益	310	200	299	810	△83	726

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額52百万円は、当社が管理している不動産賃貸収入に係る売上であります。

2. セグメント利益の調整額△83百万円には、上記1のほか、セグメント間取引消去771百万円、各報告セグメントに配分されていない全社費用△907百万円が含まれています。

3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っています。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
減価償却費	665百万円	729百万円
のれんの償却額	69	56